

このままでは救急医療は崩壊するかもしれません…

ストップ ザ コンビニ受診!



～あなたの命を守る救急医療の仕組みをみんなで守りましょう～

総合福祉センター内 健康医療推進課 地域医療係 TEL0897-52-1395

コンビニ受診とは?

休日や夜間に緊急性のない軽症患者が自己都合で受診することです。

今、西条市の救急医療の現場では…

■命の危険

コンビニ受診による患者が増え、緊急性の高い重症患者の治療に支障が出ています。

■医師や医療スタッフへの大きな負担

医師不足により、救急に携わる医師は、夜間と日中の診療を受け持ち、場合によっては数十時間の勤務となることもあります。コンビニ受診の増加が大きな負担となっています。

■患者のモラル

- 「明日は仕事だからすぐに治せ」「何かあったらどう責任を取るんだ」と医師をどう喝するなど無理難題を言う患者がいます。
- 救急車をタクシー代わりに使う人がいます。



■日中の診療とは違う

- 救急にいつも専門医がいるとは限りません。医師不足の中、交代で診療に当たっています。限られたスタッフで運営しており、詳しい検査を行えない場合もあります。
- 夜間や休日が混んでいないわけではありません。休日夜間急患センターにおいても、平成25年度のある休日には、1日137人の受診があり、待ち時間が2時間以上に及ぶこともありました。

一人ひとりの心がけで救急医療を守りましょう

- かかりつけ医 日頃から相談できる「かかりつけ医」を持ち、なるべく日中に受診しましょう。
- 病気早期発見 健康診断などを積極的に受け病気の早期発見に努めましょう。
- 薬などの常備 病気やけがに備えて薬を常備しましょう。

小児救急医療相談電話 ～夜間子どもが急な病気やけがで心配～

- 短縮番号 #8000 (携帯電話・プッシュ電話)
- 通常番号 TEL089-913-2777 (ダイヤル回線)
- 利用時間 毎日19時から翌朝8時まで (医師や看護師が応急処置などをアドバイス)



地方祭期間中の救急

今年も地方祭の季節がやってきました。地方祭期間中には、通常の救急要請に加え祭礼関係の救急出場があります。

昨年の同期間の救急出場件数は27件で、内訳は次のとおりです。

- 急病 (急性アルコール中毒などを含む) … 9件
- 一般負傷 (屋台に挟まれた事故など) … 17件
- 加害 (他人に傷害を加えられた事故) … 1件

地方祭期間の協力をお願い

救急車が必要になった場合、次の救急活動にご協力ください。

- ①適切な応急手当の実施
- ②救急車の車両誘導
- ③傷病者搬送時の協力など

今年のお祭りも皆さんのご協力で事故やケガのない、楽しいお祭りにしましょう!!

